

大切な注意です。必ずお読み下さい。

ルムジェブ注100単位/mLを注射される方へ



0391

- ◎ 危険な低血糖を起こすことがあります。  
予防と処置法に十分注意して下さい。この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいて下さい。
- ◎ あなたの主治医は、どの種類のインスリン製剤を、どれだけの量、いつ注射するか指示します。  
これはあなたの症状に合わせてきめられたものです。あなたの糖尿病を正しくコントロールするために、主治医の指示を正しく守り、定期的に診察を受けて下さい。
- ◎ ルムジェブ注100単位/mL (以下、本剤又はバイアル)は、食事時インスリンです。食事開始時に注射する場合は食事開始前の2分以内、食事開始後に注射する場合は食事開始から20分以内に注射して下さい。
- ◎ 何か体の調子がいつもと違うことに気がいたら、すぐに主治医に相談して下さい。
- ◎ 本剤以外のインスリン製剤を併用される方は、そのインスリン製剤に添付されている注意文書を必ずお読み下さい。

#### 1. 指定されたインスリン製剤をお使い下さい。

インスリン製剤には効果のあらわれる速さや持続時間の違ったいろいろな種類のものがあります。本剤は効果がより速く発現し、効果が持続する時間は短いです。あなたの症状に最も適した製剤が処方されていますので、自分の使っているインスリン製剤の名前と自分に必要な量は何単位で何mLとはっきりおぼえておいて下さい。主治医の指示なしに他の種類の製剤を使用してはいけません。

毎回使用する前に、必ずラベルを見て薬の名前を確認して下さい。本剤は無色澄明な液剤であるため、見かけが同じである持効型、速効型又は超速効型インスリン製剤と間違えないで下さい。

#### 2. 本剤の保存方法

- (1) 未使用のバイアルは、冷蔵庫内に食物等とは区別して包装箱に入れるなど清潔にして保存して下さい。
  - ・凍らせてはいけません(フリーザーの中には入れないで下さい)。
  - ・旅行等に際して短期間ならば室温に置いてもさしつかえありません。
- (2) 使用開始後も、凍結を避け、冷蔵庫内に清潔にして保存して下さい。なお、冷蔵保存できない場合は遮光して30℃以下で保存し

て下さい。

- (3) 直射日光の当たるところ、自動車内等の高温になるおそれのあるところ、熱源の近くには置かないようにして下さい。
- (4) 使用開始後は、28日以内に使用して下さい。なお、使用開始後28日以内でも、外箱及びラベルに表示してある使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。

#### 3. 指定されたインスリン専用シリンジ又は持続皮下注入ポンプをお使い下さい。

シリンジや持続皮下注入ポンプは、いろいろな種類のものが市販されています。主治医から指定されたシリンジ又は持続皮下注入ポンプを使用して下さい。勝手に変更すると危険です。

#### 4. 正しい注射方法

- (1) 注射時刻、注射手技等の方法については、主治医の指導をよく受け、正しく注射して下さい。
- (2) 注射する前に手指を石鹸でよく洗い、使用の前後にバイアルのゴム栓を消毒用アルコール綿でていねいに拭いて下さい。

#### 5. 低血糖について

インスリン製剤の注射量が多過ぎたり、医師によって指示された時間に食事をとらなかつたり、いつもより激しく運動したりすると低血糖が起こることがあります。

## (1) 低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。空腹時に起こり、食物を食べると急に良くなるのが特徴です。はなはだしい場合にはけいれんを起こしたり意識を失うこともあります。低血糖は危険な状態ですから、起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。

なお、低血糖が起こっていることを本人が気づかなかったり、わからなかったりすることがありますので家族やまわりの方もいっしょに注意して下さい。

## (2) 低血糖の予防には

- 1) インスリン製剤の種類、量、注射の時刻についての主治医の指導を正しく守って下さい。勝手に種類、量、注射の時刻を変えるような自己流のやり方は危険です。
- 2) 食事をみだりに減じたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢等は、低血糖を起こしやすいので注意して下さい。食事がとれないときは主治医に連絡してその指示を受けて下さい。
- 3) 薬の中には、いっしょに使うと低血糖を起こすものがあります。何か別の薬を使うときには主治医に相談して下さい。他の医師に何か薬を処方してもらうときにはすでにインスリン製剤を使用していることを申し出て下さい。

## (3) 低血糖が起こったら

- 1) 低血糖になっても軽いうちは糖分を食べると治ります。いつも3~4個の袋入砂糖を携帯し、すぐその場でとることが必要です。がまんしてはいけません。ただし、ボグリボース(商品名:ベイスン等)、アカルボース(商品名:グルコバイ等)、ミグリトール(商品名:セイブル等)を併用している場合には、砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、必ずブドウ糖をとって下さい。

- 2) 十分注意していても、ときには意識を失うような強い低血糖が起こらないとも限りませんから、糖尿病であることを示す患者カードを身につけておく必要があります。

- 3) 低血糖を起こした場合は、必ず主治医に報告して下さい。

- 4) **高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業**に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながります。特に注意して下さい。

## 6. その他の注意事項

### (1) アレルギー症状

かゆみ、蕁麻疹、皮膚の赤み等の皮膚症状がみられ、息苦しさを感じたり、顔が青白くなったり、意識混濁があらわれた場合、緊急に主治医に連絡して、速やかに受診して下さい。

### (2) 感染症

不潔な注射により注射部位に感染症を起こし、痛みと熱が出ることがあります。そのときはすぐ主治医に連絡して下さい。

### (3) 注射部位の異常

本剤の投与により痛みや発疹があらわれたり、皮膚が赤くなったりすることがあります。そのときは主治医に相談して下さい。

### (4) 注射部位の変化

インスリン製剤をいつも同じ場所に注射すると、皮膚がへこんだり逆にふくれてきたり、硬くなったりすることがあります。注射場所は主治医の指示どおり毎回変えて下さい(前回の注射場所より、少なくとも2~3cm離して注射して下さい)。皮膚がへこんだり逆にふくれてきたり、硬くなったりした場所への注射は避けて下さい。

- 5) 本剤は無色澄明な液剤です。濁りや着色、粒子や塊がある場合は、使用しないで下さい。

お問い合わせ先:

**Lilly Answers** リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

(一般の方・患者様向け)

0120-245-970

078-242-3499\*

\* フリーダイヤルでの接続ができない場合、このお電話番号にお掛け下さい。尚、通話料はお客様負担となります。

www.lillyanswers.jp

IT0391JJAI  
2020年8月改訂